

# スイス年金

新変額個人年金保険(無配当)

## 特別勘定の四半期運用実績レポート

### 2022年4～6月度

#### <目次>

1. 特別勘定の種類	1	ページ
2. 特別勘定の運用実績・状況	1	ページ
3. 運用環境の主な状況	2	ページ
4. [参考情報]投資信託の運用実績・状況	3-5	ページ
5. 当保険商品のリスク・諸費用・ご留意いただきたい事項	6	ページ

#### [募集代理店]

株式会社東京スター銀行



東京スター銀行

0120-330-655

(平日 9:00～21:00 土日祝 9:00～17:00 年末・年始を除く)

ホームページ / <http://www.tokyostarbank.co.jp>

#### [引受保険会社]



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

TEL 0120-933-399

月～金 9:00～18:00 土 9:00～17:00

(日・祝日および12月31日～1月3日を除く)

<https://www.axa.co.jp/>

当保険商品は、現在、新規のお申し込みをお受けしていません。  
当資料は、特別勘定の運用実績等をご契約者さまへお知らせするための資料であり、生命保険契約の募集および投資信託の勧誘を目的としたものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご了承ください。  
アクサ生命は、「運用環境の主な状況」などを信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。また、「運用実績・状況」に係る内容はいかなるものも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 特別勘定の種類

特別勘定 [ファンド]名	運用方針	主な運用対象の投資信託	投資信託の委託会社
グローバル マーケット型	主に世界各国の株式、公社債に分散投資することによって、資産の中長期的な成長を目指します。 基本資産配分は国内外株式50%、国内外公社債50%とします。	アクサ・キャピタル・グローバル・ エクイティ・ファンド	アーキタス・マルチマネージャー・ ヨーロッパ・リミテッド
		アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド (B)〈適格機関投資家私募〉	アクサ・インベストメント・マネージャーズ 株式会社
		アーキタス・ワールド・エクス・ジャパン・ バシブ・ボンド・ファンド	アーキタス・マルチマネージャー・ ヨーロッパ・リミテッド

※特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力は、法令等の改正または効率的な資産運用が困難になる等の理由により、変更されることがあります。なお、委託会社等の運用協力会社については、運用成績の悪化等、当社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。

※特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

※新変額個人年金には複数の特別勘定グループが設定されており、「スイス年金」には「特別勘定グループ(TS型)」が設定されています。保険料繰り入れおよび積立金の移転は「特別勘定グループ(TS型)」に属する特別勘定に限定されます。

「特別勘定グループ(TS型)」以外の特別勘定グループに属する特別勘定への保険料の繰り入れおよび積立金の移転はできません。

## 特別勘定の運用実績・状況

(2022年6月末現在)

### ■ 特別勘定のユニット・プライスの推移

※特別勘定のユニット・プライスは特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



特別勘定名	ユニット・プライス 2022年6月末	騰落率(%)					
		1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
グローバルマーケット型	195.46	0.31	△ 4.95	△ 6.18	0.67	28.15	95.46

※ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための便宜上の参考値で、各特別勘定の運用開始時の値を「100」として指数化したものです。

※騰落率は、当月末における、上記各期間のユニット・プライスの変動率を表しています。

※各特別勘定のユニット・プライスは、アクサ生命ホームページにて各営業日にご確認いただけます。

### ■ 特別勘定資産の内訳 千円単位

	グローバルマーケット型	
	金額	%
現預金・その他	85,719	4.5
その他有価証券	1,801,442	95.5
合計	1,887,162	100.0

※各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

## ■ 日本株式市場

日本株式市場は下落し、TOPIX(東証株価指数)は、前期末比-3.88%の1,870.82ポイントで終わりました。今四半期前半は、ロシアに対する経済制裁や米国株安を受けて、日本株式市場は下落して始まりました。その後、5月末にかけては、米国株式市場が上昇に転じたことや、中国経済の行動規制が緩和されるとの期待から日本株式市場は上昇に転じました。その後は、インフレを抑制する為に、米国の利上げが加速するとの見方等から米国株式市場が下落したことを受けて、日本株式市場は、下落しました。

日本の小型株式市場は下落しました。

## ■ 外国株式市場

米国株式市場は下落し、NYダウ工業株30種は前期末比-11.25%の30,775.43ドルで終わりました。今四半期前半は、米国の利上げに対する懸念などから米国株式市場は下落して始まりました。その後、米国長期金利が低下したことや、一部に米国の物価上昇の鈍化を示す指標が発表されたこと等から、5月末にかけて下落幅を縮小させる展開となりました。6月に入ると、インフレを抑制する為に、0.75%の利上げが実施されたことに加え、今後も米国の利上げが継続し、景気が減速するとの見方等を受けて、米国株式市場は再度下落しました。

欧州株式市場は下落し、独DAX指数は前期末比-11.31%、仏CAC40指数は前期末比-11.07%で終わりました。今四半期前半は、ロシアに対する追加経済制裁や欧州金利の上昇を受けて、欧州株式市場は下落して始まりました。その後、米国株高や中国経済の改善の兆しが見えたところから、欧州株式は上昇しました。6月に入ると、ECB(欧州中央銀行)の利上げや、米国の利上げの加速による世界経済の減速懸念等から欧州株式市場は下落しました。

新興国株式市場は下落しました。先進国リート市場は下落しました。

## ■ 日本債券市場

10年国債の金利は上昇(価格は下落)し、期末には0.231%となりました(前期末0.220%)。米長期金利の上昇等を背景に一時的に金利が上昇する局面もありましたが、日銀の誘導目標(10年金利0.25%)の水準まで長期金利が上昇した局面では、日銀が指値オペを実施したこと、長期金利の上昇は日銀の誘導目標の範囲内にとどまり、10年国債の金利は期を通じて、ほぼ横這い推移となりました。

## ■ 外国債券市場

米国債券市場では、10年国債の金利は上昇(価格は下落)し、期末には3.013%となりました(前期末2.338%)。今四半期は、上旬よりインフレを抑える為に、FRB(連邦準備制度理事会)が積極的に利上げを行うとの見方等を受けて、米国金利は上昇して始まりました。その後、一部のインフレ指標に鈍化の兆しが出たことや利上げの影響で景気が減速するとの懸念等により、長期金利が一旦低下(価格は上昇)する局面もありましたが、基調としては、FRBが実際に、5月に0.5%、6月に0.75%の利上げを行い、今後もインフレ抑制の為に利上げを継続する方針であること等を受けて、米国長期金利は上昇しました。

米国ハイ・イールド債券市場は価格が下落しました。

欧州債券市場では、独10年国債の金利は上昇し、期末には1.336%となりました(前期末0.548%)。今四半期前半からエネルギー価格の上昇を中心とする欧州のインフレ懸念や米国の金利上昇の影響などを受けて、欧州の長期金利は上昇しました。その後も、ECBが利上げを示唆したことや米国の長期金利上昇の影響等を受けて、欧州の長期金利は上昇しました。

## ■ 外国為替市場

米ドル/円相場は、米ドル高円安となり、期末には前期末比+14.29円の136.68円となりました。今四半期は、米国の利上げ観測が高まる一方で、日銀が現状の低金利政策を継続する方針を明確にしたことから、日米の金利差が拡大するとの見方等から米ドル高円安の展開となりました。

ユーロ/円相場は、ユーロ高円安となり、期末には前期末比+5.97円の142.67円となりました。今四半期は、エネルギー価格の上昇を中心とする欧州のインフレを抑制する為に、ECB(欧州中央銀行)が利上げを行うとの観測が上がった一方で、日銀が現状の低金利の継続の方針を明確にしたことから、金利差が拡大するとの見方等により、ユーロ高円安の展開となりました。

# グローバルマーケット型

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2022年6月末現在)

## アクサ・キャピタル・グローバル・エクイティ・ファンド

アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

AXA Capital Global Equity Class I

Architas Multi-Manager Europe Limited

### ■ 投資信託の特徴

純資産価額の3分の2以上を、世界の規制市場で上場、値付けもしくは取引されている株式に投資することにより、積極的な分散投資のポートフォリオによる長期的な元本の増大を目的として運用を行います。(委託会社は本ファンドの運用についてキャピタル・インターナショナル・マネジメント・カンパニーSARLを副投資マネージャーに任命しました。)

\*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

### ■ 純資産総額

160,784 百万円

### ■ 設定日

2021年10月27日

### ■ 基準価額騰落率 表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△3.96	△9.88	△14.25	△5.97	55.58	106.62

### ■ ベンチマーク

なし

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

※投資信託の構造を見直し、運用報酬の引下げを行うことをご契約者の利便性を高めるための投資信託の変更を行いました。

そのため当ページで示している基準価額騰落率および基準価額の推移につきまして、2021年10月26日までは、変更前の「キャピタル世界株式ファンドVA(適格機関投資家用)」の基準価額に、2021年10月27日以降は、「アクサ・キャピタル・グローバル・エクイティ・ファンド」のファンド価格に基づいて計測された数値を表示しています。

### ■ 基準価額の推移

※キャピタル世界株式ファンドVA(適格機関投資家用)の設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



### ■ 株式組入上位10銘柄

銘柄数: 299

	銘柄	国名	業種	%
1	TESLA INC	アメリカ	一般消費財・サービス	5.18
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	4.22
3	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	情報技術	2.56
4	META PLATFORMS INC CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	1.80
5	ELI LILLY + CO	アメリカ	ヘルスケア	1.43
6	ALPHABET INC CL C	アメリカ	コミュニケーション・サービス	1.42
7	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	1.42
8	AIA GROUP LTD	香港	金融	1.42
9	ALPHABET INC CL A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	1.42
10	ASTRAZENECA PLC	イギリス	ヘルスケア	1.36

### ■ 株式組入上位5カ国(%)

1	アメリカ	50.86
2	フランス	6.27
3	イギリス	4.53
4	スイス	3.86
5	オランダ	3.43

### ■ 株式組入上位5業種(%)

1	情報技術	19.77
2	一般消費財・サービス	15.44
3	ヘルスケア	14.95
4	金融	10.41
5	資本財・サービス	8.86

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。

後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

# グローバルマーケット型

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2022年6月末現在)

## アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

### ■ 投資信託の特徴

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

### ■ 純資産総額

218 億円

### ■ 設定日

2000年12月21日

### ■ ベンチマーク

ブルームバーグ・日本総合(3-7年)インデックス

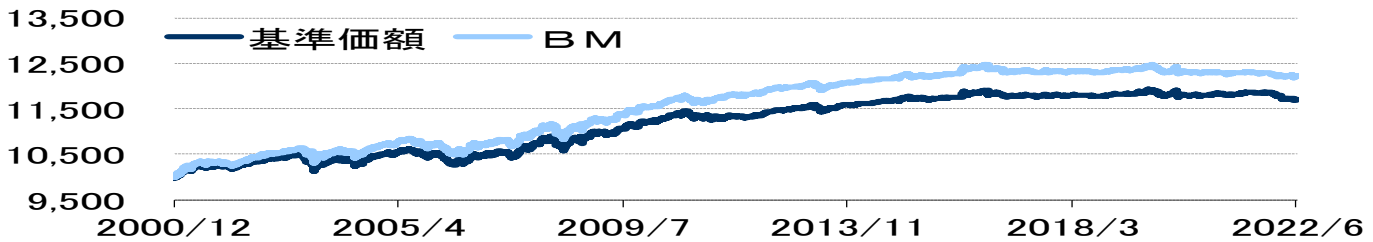
### ■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	△ 0.22	△ 0.21	△ 1.29	△ 1.13	△ 1.36	17.03
BM	△ 0.08	0.02	△ 0.47	△ 0.60	△ 1.45	22.19
差異	△ 0.14	△ 0.24	△ 0.82	△ 0.53	0.09	△ 5.16

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したもとして計算しています。また、実際の投資家利回りは異なります。  
 ※ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・日本総合(3-7年)インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

### ■ 基準価額の推移

※設定日の前日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



### ■ 債券組入上位銘柄

	銘柄名	国名	Moody's	S&P	%
1	BNPパリバ	フランス	Baa1	A-	11.67
2	第364回利付国債(10年)	日本	-	A+	4.43
3	第13回シティグループ・インク円貨社債	アメリカ	A3	BBB+	4.32
4	第39回政府保証株式会社日本政策投資銀行	日本	A1	A	4.29
5	第357回利付国債(10年)	日本	A1	A+	4.24
6	HSBCホールディングス	イギリス	A3	A-	4.09

### ■ 格付別構成比率(%)

AAA	0.00
AA	3.02
A	80.29
BBB	16.69
BB以下(無格付含)	0.00

### ■ ファンド情報

平均格付	A
平均クーポン	0.57%
平均利回り	0.61%

### ■ 債券種別構成比率(%)

国債	15.45
地方債	1.04
特殊債・財投債	12.63
金融債	0.00
社債等	70.65
その他	0.00
短期資産等	0.23

※「債券組入上位銘柄」「格付別構成比率」「債券種別構成比率」はマザーファンドの状況で、純資産総額を100%として計算したものです。  
 ※海外格付機関の格付を優先し、海外格付機関の格付取得の無い発行体は国内格付機関の格付けを採用します。  
 ※債券種別構成比率「短期資産等」には債券先物が含まれています。

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。  
 ※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
 ※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。  
 後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

# グローバルマーケット型

[ご参考 主な投資対象とする投資信託の運用実績・状況]

(2022年6月末現在)

## アーキタス・ワールド・エクス・ジャパン・パッシブ・ボンド・ファンド

Architas World ex-Japan Passive Bond Fund Class J

アーキタス・マルチマネージャー・ヨーロッパ・リミテッド

Architas Multi-Manager Europe Limited

### ■ 投資信託の特徴

元本およびインカム収入の両方を考慮したトータルリターン(報酬および費用控除前)を投資家に提供することを目指します。ベンチマークはFTSE 世界国債インデックス(除く日本)で、ベンチマークに連動した運用成果を目指します。純資産価額の100%を上限として、日本を除く世界各国が発行する国債(政府機関債・地方債含む)に投資します。

\*当投資信託は、円建アイルランド籍外国投資信託です。

### ■ 純資産総額

41,835 百万円

### ■ 設定日

2021年3月24日

### ■ ベンチマーク

FTSE世界国債インデックス(除く日本)

### ■ 基準価額・ベンチマーク(BM)騰落率 表示桁数未満四捨五入

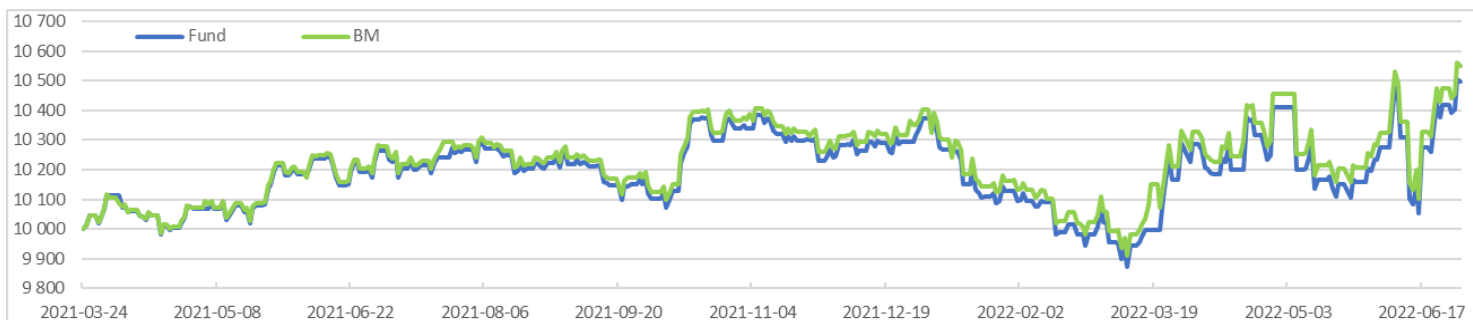
%	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
基準価額	2.98	2.66	1.22	2.68	-	4.99
BM	2.97	2.73	1.41	3.04	-	5.48
差異	0.01	△0.07	△0.19	△0.36	-	△0.50

※基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、実際の投資家利回りとは異なります。

※FTSE世界国債インデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ■ 基準価額の推移

※設定日を10,000として指数化しています。(税引前分配金再投資)



### ■ 債券組入上位6銘柄

銘柄数: 535

	銘柄	国名	%
1	US TREASURY N/B 1.875% 31 Aug 2024	アメリカ	1.11
2	US TREASURY N/B 2.125% 31 Jul 2024	アメリカ	1.06
3	US TREASURY N/B 2.5% 15 May 2024	アメリカ	0.97
4	US TREASURY N/B 1.625% 15 Feb 2026	アメリカ	0.96
5	US TREASURY N/B 0.125% 15 Feb 2024	アメリカ	0.96
6	US TREASURY N/B 1.875% 31 Jul 2026	アメリカ	0.84

### ■ 債券組入上位5カ国(%)

1	アメリカ	50.60
2	フランス	8.71
3	イタリア	8.15
4	ドイツ	6.53
5	スペイン	5.24

### ■ 格付別構成比率(%)

AAA	57.73
AA	13.15
A	1.34
BBB	11.03
BB or Lower	0.00
Not Rated	16.05

※上記の内容は、ご参考情報として運用会社からの情報を提供するものであり、アクサ生命は内容について一切の責任を負いません。

※資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

※特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分(現金等)を加えて構成されています。

後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

# 当保険商品のリスク・諸費用・ご留意いただきたい事項



## 投資リスクについて

当保険商品の据置(運用)期間中の運用は特別勘定で行われます。特別勘定資産の運用実績に基づいて年金額、死亡給付金額および解約払戻金額等が変動(増減)します。特別勘定資産の運用は、株式および公社債等の価格変動と為替変動等にもなう投資リスクがあり、運用実績によってはお受け取りになる年金額や解約払戻金額の合計額が一時払保険料を下回ることがあります。これらのリスクはすべてご契約者に帰属します。



## 元本欠損が生じる場合があります

解約の時期、被保険者の契約年齢等の諸条件により、ご契約者等がお受け取りになる金額の合計額が、払込保険料の合計額を下回る場合があります。保険会社の業務又は財産の状況の変化により、年金額、給付金額、解約払戻金額等が削減されることがあります。



## 諸費用について

契約初期費	一時払保険料に対して <b>5.0%</b> を特別勘定繰入前に控除します。
保険関係費	特別勘定の資産総額に対して(年率 <b>0.75%</b> +運用実績に応じた費用 <sup>*</sup> )/365日を毎日控除します。 <sup>*</sup> 運用実績に応じた費用:運用実績を毎日判定し、実績が <b>年率1.5%を超過した場合のみ、超過分1%あたり0.1%(上限1.25%)</b> を控除します。
年金管理費 <sup>*1</sup>	年金支払開始日以後、支払年金額の <b>1%</b> を年金支払日に控除します。
資産運用関係費 <sup>*2*3</sup>	グローバルマーケット型 <b>年率0.55804%程度<sup>*4</sup></b>

<sup>\*1</sup> 年金支払特約、年金支払移行特約によりお受け取りいただく場合は、記載の費用は上限です。年金管理費は、将来変更される可能性があります。

<sup>\*2</sup> 資産運用関係費は、主に利用する投資信託の消費税等がかかる場合はそれらを含む総額の信託報酬率を記載しています。

<sup>\*3</sup> 資産運用関係費は将来変更されることがあります。

<sup>\*4</sup> 資産運用関係費は、主な投資対象である投資信託の信託報酬率を基本資産配分比率で加重平均した概算値です。各投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価格の変動などに伴う実際の配分比率の変動により、運用関係費も若干変動します。

その他お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金がかかりますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することとなります。



## その他ご留意いただきたい事項

当保険商品は、生命保険商品であり投資信託ではありません。また、ご契約者が投資信託を直接に保有されている訳ではありません。特別勘定資産の運用実績は、特別勘定が主な投資対象とする投資信託の運用実績とは異なり、一致するものではありません。これは、特別勘定は投資信託のほかに、保険契約の異動等に備えて一定の現預金等を保有していることや、積立金の計算にあたり投資信託の値動きには反映されていない保険にかかる費用等を特別勘定資産から控除していることなどによるものです。当保険商品の詳細につきましては、「契約締結前交付書面(契約概要/注意喚起情報)」「特に重要なお知らせ(注意喚起情報)」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」などをご覧ください。ご契約の時期によっては、書面の種類や名称などが異なる場合があります。